



回覧

令和2年 3月19日 最終号

古賀市立古賀東中学校

校長 松本 修

生徒数 355名

	男子	女子	合計
1年	59	52	111
2年	75	57	132
3年	51	61	112

東風魂四訓 「あいさつ」「感謝の心」「時間厳守」「環境美化」

【古賀東中 Facebook】と【古賀東中PTCA Facebook】を公開中!!

2月22日(土)・23日(日) 県中学校技術・家庭科作品展 が開催

2月22日(土)・23日(日) 第22回福岡県中学校 技術・家庭科作品展(ウェルトとばた 交流プラザ)が開催されました。その中に、糟屋区中文連 技術・家庭科の部で優秀賞になった、2の4 清原 颯くん「本棚」(写真右上)と2の1 豊田 愛紗さん「布一枚でつくるポーチと万能ティッシュポーチ」(写真右下)が展示されました。糟屋区だけでなく、さらに多くの方々に観てもらうことが、さらなる飛躍に繋がります。来年度も活躍を期待しています。



3月2日(月)～3月24日(火) 新型コロナウイルス感染症の拡大 防止のため、臨時休校が始まる。

2月27日(木) 突然の臨時休校の要請が発表され、古賀市も3月2日(月)から休校に入りました。

生徒の皆さん、保護者の皆様には、ご苦勞をかけていると思います。

しかし、この事態だからこそ「+感」で生活していきましょう。

皆さんに先生たちもしっかり寄り添います。

下記に、3月13日(金) 毎日新聞朝刊に中学3年生が投稿した作文を紹介します。



【3/10なの花畑】

経験が僕たちを大きく

僕は19日に中学校を卒業します。しかし、新型コロナウイルスによって卒業式は縮小されるようです。仕方ないと思う反面、もう少し政府が対策を早く打ち出せなかったのかと疑問に思うこともあります。それでも、政府は一生懸命、国民のために働いてくれていることも事実なので、感謝しなければならぬと思います。

僕たちの学年は、いろいろ大変なことがあります。例えば、昨年の秋の関西

方面への修学旅行です。初日に台風の影響で電車のダイヤが乱れ、出発から東京駅まで行くのに約4時間もかかるなど予定が大きく変わってしまいました。しかし、そうした経験が、自分たちを一回り大きく育ててくれたとも感じています。

僕たちは、この1年間の思い出を大切に、これからも力強く生きていきます。

3月13日(金) 第32回卒業証書授与式を挙行

3月13日(金) 第32回卒業証書授与式を挙行しました。

過去に誰も経験したことがない30分という制約、練習も殆どしていない中で、卒業生は素晴らしい式を創りあげました。

この素晴らしい卒業式になるよう本校職員も準備をしてきました。卒業生は勿論、保護者の皆様のご協力、諸先生方には感謝しありません。

このような卒業生の餞(はなむけ)に「感謝」と「共生」の言葉を伝え、手紙を渡しました。

予測困難の社会であっても、「感謝を忘れず、生きて、生きて、生き抜いて」ってください。

3年間、君たちと過ごせて楽しかった。ありがとうございました。

※答辞を裏面に掲載しています。



4月の行事(予定)



6日(月)	離・赴任式 前期始業式
8日(水)	入学式準備
9日(木)	第33回 入学式
10日(金)	発育測定 2・3年生 PTCA 役員決め
14日(火)	部活動紹介
16日(木)	全国学力状況調査 1・3年生耳鼻科検診
20日(月)	生徒総会
21日(火)	眼科検診 生徒会入会式
22日(水)	1年心臓検診 尿検査 部活動生集会
23日(木)	尿検査 1年生・2年生の1・2組内科検診
24日(金)	尿検査 ブロック結団式
25日(土)	PTCA総会・授業参観 部活動保護者会 振替休日(5月18日)
27日(月)	体育会全校練習開始
29日(水)	昭和の日
※定時退校日	8・15・22
※部 休日	8・12・15・19・22
※朝弁&朝弁	未定

※裏面に続きます。

<卒業生 答辞>

卒業生代表(元生徒会長) 松本 遙

不安を少し抱えながらも、「中学校生活が始まる。と言うワクワクで一杯だったあの日、私たちは古賀東中学校に入学しました。私たちはとても落ち着きがなく、周りに迷惑をかけたこともありましたが、この元気なエネルギーは私たちが前向きにしてくれるものであり、魅力でもありました。



先輩ができた2年生。行事ごとに「君たちは先輩だからお手本を見せなければならない。」と言われ、自分勝手な行動はできないという意識が高まりました。落ち着きがなかった私たちにメリハリができるようになり、少しずつ成長していきました。

最上級生の3年生になって、すぐに、「最高に格好いい3年生になって卒業しよう。」という目標を生徒会役員で決めました。「最高に格好いいなんて本当になれるのか。」と最初は不安でしたが、最上級生という言葉に慣れない私たちでしたが、ことある毎にこの目標を合い言葉にしてきました。体育会では今までリーダーの経験がなかった人もリーダーとなり、そして何より3年生全員が大きな声を出して、下級生のお手本となり格好いい姿を見せてくれました。学年で大きな問題が起こり、目標が遠ざかりそうになった時も、私たちは解決に向けて真剣に考え、最高に格好いい姿に近づこうと努めてきました。それは、東風魂四訓唱和と校歌斉唱にも現われています。1年生の時から「先生から大きな声を出さない。」と言われ続けてきた私たちが変わりました。それは、卒業式練習での「東風魂四訓唱和と校歌」を聞いて思ったのです。私たちの声が自信に満ち溢れ、力強いものになっていると。私はこの声を聞いてとても感動し、「みんなと同じ学年でよかった、幸せだな」と思いました。保護者の皆様、私たちの「東風魂四訓唱和と校歌」を聞いて、成長を感じてください。

急遽、まだまだ続くと思っていた学校生活は突然、終わりました。友達と勉強を教え合うことや給食を笑いながら食べる、普段は面倒だと思っている掃除ですら、今となっては懐かしく、大切な時間だったと感じます。卒業式がなくなった学校もあります。今ある当たり前のことは当たり前ではなく、この瞬間は感謝すべき時間です。この気持ちを大切に持ち続けていこうと強く思います。

先生方、在校生のみんな、数々の行事でお世話になった方々のおかげで、立派な卒業式を迎えることができました。本当にありがとうございました。今、私たちは感謝の気持ちを胸に、最高に格好いい姿で古賀東中学校を卒業します。

最後に、お父さん・お母さん・家族のみんな、15年間支えてくれてありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

(一部省略)

令和2年3月13日

古賀東中学校1・2年生の皆さんへ

まず令和元年度の最後に、約三週間の臨時休校となりますが、皆さんたちはよく我慢し、無事に生きていることに感謝します。

また、このような形で修了証を渡すことを大変申し訳なく思っています。

さて、令和元年度の古賀東中学校での学習は楽しかったですか。自己成長はできましたか。

その基準は、自己有用感(他者の役に立つと実感すること)を持てる場面が多くあったかどうかです。自己満足だけでは成長はありません。自分の行動が自分と他者の役に立つことが成長です。

それが生きる行動であり、生徒会が目指す「日本一温かい学校」です。

そう考えると、まだまだですよ。私も同じです。

その成長のために、1年後の未来を描き、それを達成するために小さな目標を立て、計画的に「生きる行動」を続けてください。

この非常事態で、修了式や4月の始業式がどうなるか分かりませんが、残りの臨時休校や12日間の春休みで、休み中の課題の答え合わせをし、さらに復習しておいてください。また、食べることや睡眠、運動も大切です。スマホもいいですが、家の人に了解を得て、うちの庭や公園、小中学校などで外遊びをすることも学習です。

この状況をよい機会と捉えて、エネルギーを蓄え、新学年になるにふさわしい準備をしておいてください。

4月、皆さん全員と会えるのを楽しみにしています。

保護者・地域の皆様、今年度、このような形での挨拶となりましたが、本校へのご支援とご協力、誠にありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

令和2年3月19日
古賀市立古賀東中学校
校長 松本 修



卒業生への伝言(国語科 持田 恵子 書)